

令和6年度使用  
小学校用教科用図書  
採択参考資料

英 語

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	英語 509・510・609
9 開隆堂	英語 511・512・611・612
15 三省堂	英語 513・514・613
17 教出	英語 515・615
38 光村	英語 516・616
61 啓林館	英語 517・617

# 英 語

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

2 東書      9 開隆堂      15 三省堂      17 教出      38 光村      61 啓林館

### 2 調査研究の観点

- (1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮がなされているか。
- (4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点 (1) (4)
  - ① 領域別のページ構成
  - ② 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成
  - ③ デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること…………… 観点(1)
- (3) 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること…………… 観点(1) (2) (3)
- (4) 児童の実態や、教科横断的な内容に関すること…………… 観点 (2) (3)
- (5) 全体的な表記・表現の工夫に関すること…………… 観点 (1) (2) (4)
- (6) 学習者用デジタル教科書に関すること…………… 観点 (1) (2) (3)

1 概括的な調査研究

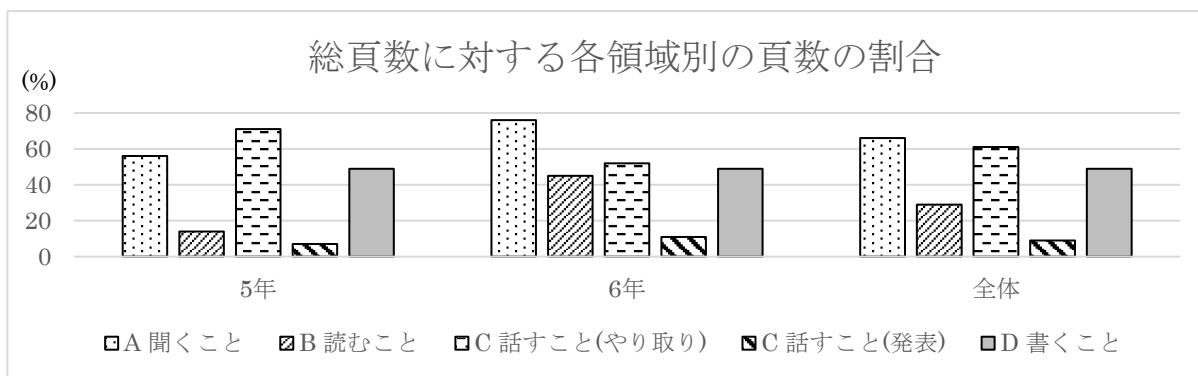
(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成					総 頁 数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと		D 書くこと		頁 数	内 容
				やり 取り	発表				
5年 (A4判)	頁	54	13	68	7	47	96	4	「絵カード」「コミュニケーションカード」「アルファベットカード」
	割合	56%	14%	71%	7%	49%			
6年 (A4判)	頁	73	43	50	11	47	96	4	「絵カード」「コミュニケーションカード」
	割合	76%	45%	52%	11%	49%			
合計	頁	127	56	118	18	94	192	8	
	割合	66%	29%	61%	9%	49%			

※別冊「My Picture Dictionary」…頁数：48、内容：「Words」「ローマ字表」「CAN-DOの樹」「Letter Images」  
地図、表現リスト

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成

	「言語の使用場面」 の種類の数	「言語の働き」 の種類の数	伝統文化を題材に 取り上げている ページ数	文字について独立 して取り上げている ページ数
5年	10	18	12	9
6年	10	8	12	9
全 体	20	26	24	18

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

5年	6年	別冊	合計
75	76	59	210

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年の「Let's Try」「Let's Listen」では、ゴールの「Enjoy Communication」に向けての活動がイラスト等で設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに慣れ親しむための「Let's Chant」が設定されている。
- 「Sounds and Letters」で文字と音の関係に気付かせる活動が設定されている。
- これまでに学習した語句や表現が復習できるように、「Let's start!」が設定されている。

**3 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること**

- 各単元のはじめ「Starting Out」では、イラストや写真が掲載されており、使用場面を想定しながら語句や表現を確認できる構成になっている。
- 各単元の「Enjoy Communication」には、コミュニケーションを行う目的が示された学習課題が設定されている。
- 「Enjoy Communication」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について、書く活動が設定されている。
- 既習の語句や表現を繰り返し活用し、定着を図るための活動である「Small Talk」のトピックが示され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各学期の終わりに「Check Your Steps」があり、その学期の学習内容を振り返り、学習した言語材料を活用して行う言語活動が設定されている。

**4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること**

- 第5学年では、国語、社会、総合的な学習の時間等の学習内容、第6学年では、国語、社会、家庭科、道徳、総合的な学習の時間等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 第5学年は「日本」を、第6学年は「世界」をテーマに学習内容が設定されており、使う表現や話題が系統的に構成されている。

**5 全体的な表記・表現の工夫に関すること**

- 別冊「My Picture Dictionary」には、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリー別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 巻末には、各単元で活用できる絵カードとコミュニケーションカードが付いている。
- 単元のはじめ「Our Goal」では、学習の目標と流れが示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 各単元のレイアウトが統一されており、紙面上の定位置に配置されている。
- 「My Picture Dictionary」の「CAN-DOの樹」にこれまで学んだことについて、第5、6学年を通して記録できるようになっている。

**6 学習者用デジタル教科書に関すること**

- 学習者用デジタル教科書においては、「デジタルマップ」で調べ学習ができるように、日本や外国の文化についての情報が掲載されており、単語の音声再生ができる。

1 概括的な調査研究

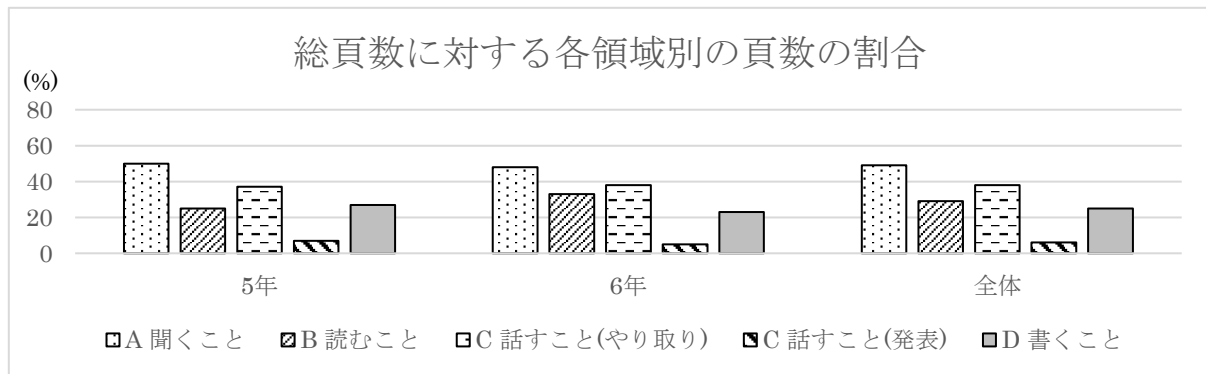
(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成					総 頁 数	頁 数	資料・付録
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと		D 書くこと			内容
				やり 取り	発表				
5年 (A4判)	頁	64	32	47	9	35	128	2	アルファベットカード
	割合	50%	25%	37%	7%	27%			
6年 (A4判)	頁	61	42	49	7	30	128	2	絵カード アルファベットカード
	割合	48%	33%	38%	5%	23%			
合計	頁	125	74	96	16	65	256	4	
	割合	49%	29%	38%	6%	25%			

※別冊「Word Book」…頁数:33、内容:ワードリスト

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成

	「言語の使用場面」 の種類の数	「言語の働き」 の種類の数	伝統文化を題材に 取り上げている ページ数	文字について独立 して取り上げている ページ数
5年	7	9	11	14
6年	6	9	18	12
全 体	13	18	29	26

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

5年	6年	別冊	合計
57	57	104	218

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年の「Let's Listen」では、ゴールの「Activity 3」に向けての活動がイラスト等で設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに慣れ親しむための「Chant Box」が設定されている。
- 「Sound Box」等で文字と音の関係に気付かせる活動が設定されている。
- これまでに学習した語句や表現が復習できるように、「3、4年で学習したこと」が設定されている。

**3 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること**

- 各単元のはじめ「Let's Watch and Think」では、イラストや写真が掲載されており、使用場面を想定しながら語句や表現を確認できる構成になっている。
- 各単元の「Activity 3」には、コミュニケーションを行う目的が示された学習課題が設定されている。
- 「Let's Write」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について、書く活動が設定されている。
- 既習の語句や表現を繰り返し活用し、定着を図るための活動である「Small Talk」のトピックが示され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各学期の終わりに「Let's Check」があり、その学期の学習内容を振り返り、学習した言語材料を活用して行う言語活動が設定されている。

**4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること**

- 第5学年では、国語、社会、総合的な学習の時間等の学習内容、第6学年では、国語、社会、理科、総合的な学習の時間等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 「Story Time」では、文化やSDGsに関する視点を取り入れた内容が設定されている。

**5 全体的な表記・表現の工夫に関すること**

- 別冊「Word Book」には、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリー別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 巻末には、各単元で活用できるアルファベット学習用カードが付いている。
- 単元のはじめには、学習の目標と流れが示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 各単元のレイアウトが統一されており、紙面上の定位置に配置されている。
- 「CAN-DO チェック」には、児童自身が自分の到達度を振り返る欄が設定されている。

**6 学習者用デジタル教科書に関すること**

- 学習者用デジタル教科書においては、文字とイラストを区別した表示機能や音声読み上げ機能など、学習支援ツールが設定されている。

1 概括的な調査研究

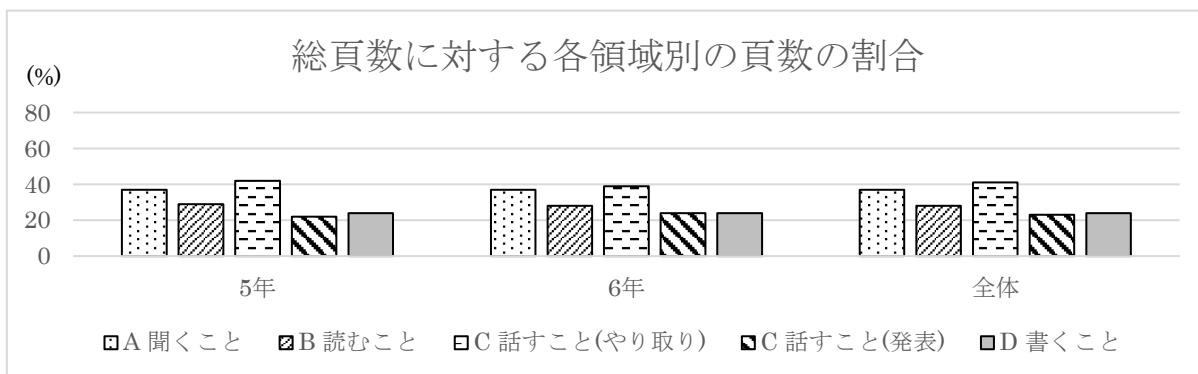
(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成					総 頁 数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと		D 書くこと		頁 数	内 容
				やり 取り	発表				
5年 (A4判)	頁	41	32	47	25	27	112	4	「絵カード」「アルファベット カード」「コミュニケーション カード」
	割合	37%	29%	42%	22%	24%			
6年 (A4判)	頁	41	31	44	27	27	112	4	「絵カード」「コミュニケーシ ョンカード」
	割合	37%	28%	39%	24%	24%			
合計	頁	82	63	91	52	54	224	8	
	割合	37%	28%	41%	23%	24%			

※別冊「My Dictionary」…頁数：48、内容：ワードリスト、表現リスト、「アルファベット」「CAN-DO」  
「Let's Chant」

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関わるページ数の構成

	「言語の使用場面」 の種類の数	「言語の働き」 の種類の数	伝統文化を題材に 取り上げている ページ数	文字について独立 して取り上げている ページ数
5年	5	8	13	25
6年	6	9	12	22
全 体	11	17	25	47

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

5年	6年	別冊	合計
56	57	66	179

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年の「STEP」では、ゴールの「Let's Try」に向けての活動がイラスト等で設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに慣れ親しむための「Sound Chant」「Phrase Chant」が設定されている。
- 「ABC Fun Box」で文字と音の関係に気付かせる活動が設定されている。
- これまでに学習した内容が復習できるように、「英語で言ってみよう」が設定されている。

### 3 思考力、判断力、表現力等に関すること

- 各単元のはじめ「Panorama」では、イラストや写真が掲載されており、使用場面を想定しながら語句や表現を確認できる構成になっている。
- 各単元の「JUMP」には、コミュニケーションを行う目的が示された学習課題が設定されている。
- 「Let's Read&Write」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について、書く活動が設定されている。
- 既習の語句や表現を繰り返し活用し、定着を図るための活動である「Small Talk」のトピックが示され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各学期の終わりに「JUMP」があり、その学期の学習内容を振り返り、学習した言語材料を活用して行う言語活動が設定されている。

### 4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では、国語、社会、道徳、総合的な学習の時間等の学習内容、第6学年では、国語、道徳、総合的な学習の時間等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 「世界のまつり」「世界の小学校」「世界のスポーツ」「世界のおはなし」を題材にしたページがあり、他文化に触れる内容が設定されている。

### 5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 別冊「My Dictionary」には、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリ一別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 巻末には、各単元で活用できるアルファベットカードと絵カードが付いている。
- 単元のはじめ「HOP」では、「My Goal」として単元の目標が示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 各単元のレイアウトが統一されており、紙面上の定位置に配置されている。
- 「My Dictionary」には、第5、6学年を通して「英語でできること」を記録するページが設定されている。

### 6 学習者用デジタル教科書に関すること

- 学習者用デジタル教科書においては、問題をランダムに出題したり、回答の残り時間を示したりすることができる単語ゲームが準備されている。



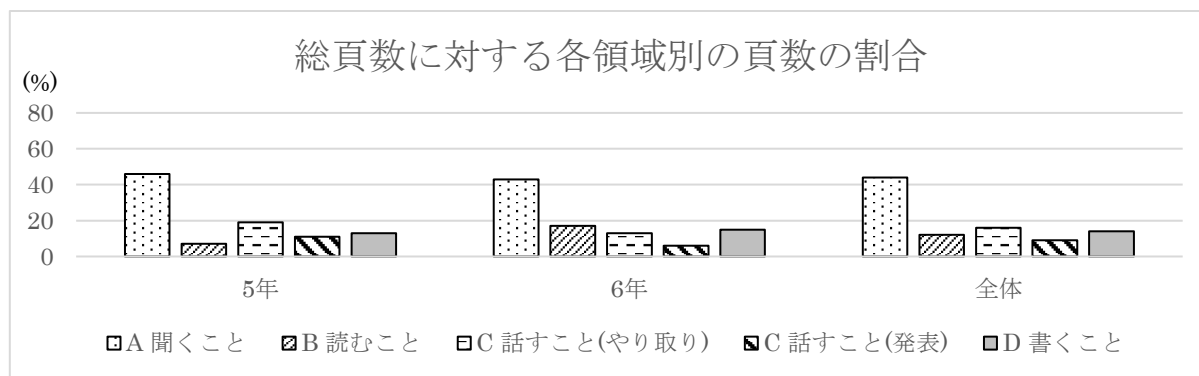
1 概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成					総 頁 数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと		D 書くこと		頁 数	内 容
				やり 取り	発表				
5年 (A B判)	頁	53	8	22	13	15	116	10	「シール」「絵カード」「ワークシート」アルファベットカード
	割合	46%	7%	19%	11%	13%			
6年 (A B判)	頁	46	18	14	7	16	108	13	「絵カード」「My Book」「ワークシート」
	割合	43%	17%	13%	6%	15%			
合計	頁	99	26	36	20	31	224	23	
	割合	44%	12%	16%	9%	14%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関わるページ数の構成

	「言語の使用場面」 の種類の数	「言語の働き」 の種類の数	伝統文化を題材に 取り上げている ページ数	文字について独立 して取り上げている ページ数
5年	6	12	11	13
6年	4	12	11	10
全 体	10	24	22	23

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

5年	6年	別冊	合計
73	59		132

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年の「Let's Listen」「Activity」では、ゴールの「Final Activity」に向けての活動がイラスト等で設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに慣れ親しむための「Let's Say It Together」が設定されている。
- 「The Alphabet」「Sounds and Letters」で文字と音の関係に気付かせる活動が設定されている。
- これまでに学習した語句や表現が復習できるように、「Let's Start Together」が設定されている。

**3 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること**

- 各単元のはじめ「Let's Watch and Think」では、イラストや写真が掲載されており、使用場面を想定しながら語句や表現を確認できる構成になっている。
- 各単元の「Think」のページには、コミュニケーションを行う目的が示された学習課題が設定されている。
- 「Let's Write」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について、書く活動が設定されている。
- 既習の語句や表現を繰り返し活用し、定着を図るための活動である「Action!」のトピックが示され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各単元の終わりに「Final Activity」があり、その単元の学習内容を振り返り、学習した言語材料を活用して行う言語活動が設定されている。

**4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること**

- 第5学年では、国語、社会、家庭科、道徳等の学習内容、第6学年では、国語、社会、道徳、総合的な学習の時間等の学習内容とそれぞれ関連のある単元及び内容が設定されている。
- SDGsに関する視点を取り入れた内容が設定されている。

**5 全体的な表記・表現の工夫に関すること**

- 巻末の「My Word Bank」には、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリー別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 巻末には、各単元で活用できるシールやワークシートが付いている。
- 単元のはじめ「Goal」では、目標が吹き出しで示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 各単元のレイアウトが統一されており、紙面上の定位置に配置されている。
- 「Final Activity をふりかえろう」には、児童自身が自分の到達度を振り返る欄が設けられている。

**6 学習者用デジタル教科書に関すること**

- 学習者用デジタル教科書においては、すべてのページにおいて、掲載されている英単語をタッチすると音声が出る機能が設定されている。

1 概括的な調査研究

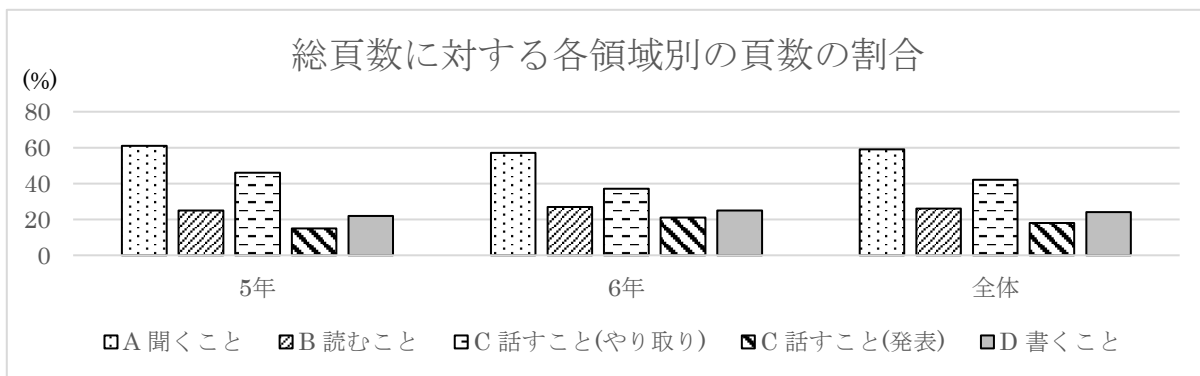
(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成					総 頁 数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと		D 書くこと		頁 数	内 容
				やり 取り	発表				
5年 (A B判)	頁	67	27	51	17	24	110	32	アルファベットカード、絵カード、自己紹介シート、ローマ字表
	割合	61%	25%	46%	15%	22%			
6年 (A B判)	頁	63	30	41	23	28	110	28	自己紹介シート、ローマ字表
	割合	57%	27%	37%	21%	25%			
合計	頁	130	57	92	40	52	220	60	
	割合	59%	26%	42%	18%	24%			

※別冊「Picture Dictionary 5、6」…頁数:25、内容:ワードリスト、表現リスト、「アルファベット表」

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成

	「言語の使用場面」 の種類の数	「言語の働き」 の種類の数	伝統文化を題材に 取り上げている ページ数	文字について独立 して取り上げている ページ数
5年	7	10	9	8
6年	5	11	15	5
全 体	12	21	24	13

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

5年	6年	別冊	合計
57	55	56	168

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年の「Let's listen.」「Let's try.」では、ゴールの「Let's speak.」に向けての活動がイラスト等で設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに慣れ親しむための「Let's chant.」が設定されている。
- 「Alphabet Time」で文字と音の関係に気付かせる活動が設定されている。
- これまでに学習した語句や表現が復習できるように、「3、4年で学習した表現」が設定されている。

**3 思考力、判断力、表現力等に関すること**

- 各単元のはじめ「Story」では、イラストや写真が掲載されており、使用場面を想定しながら語句や表現を確認できる構成になっている。
- 各単元の「Step 1」「Step 2」には、コミュニケーションを行う目的が示された学習課題が設定されている。
- 「Let's write and read.」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について、書く活動が設定されている。
- 既習の語句や表現を繰り返し活用し、定着を図るための活動である「Small Talk」のトピックが示され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各単元の終わりに「You can do it!」があり、その単元の学習内容を振り返り、学習した言語材料を活用して行う言語活動が設定されている。

**4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること**

- 第5学年では、国語、家庭科、道徳等の学習内容、第6学年では、国語、理科、道徳等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 各学年とも、世界各国の小学生の多様な価値観について触れる「世界の友達」が掲載されている。

**5 全体的な表記・表現の工夫に関すること**

- 別冊「Picture Dictionary」には、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリー別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 巻末には、各単元で活用できる絵カードとアルファベットカードが付いている。
- 単元のはじめ「Goal」では、学習の目標と流れが示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 各単元のレイアウトが統一されており、紙面上の定位置に配置されている。
- 巻末に、年間の学びをまとめるシート「All About Me」が付いている。

**6 学習者用デジタル教科書に関すること**

- 学習者用デジタル教科書においては、デジタルコンテンツをワンタッチで操作できるように設定されている。

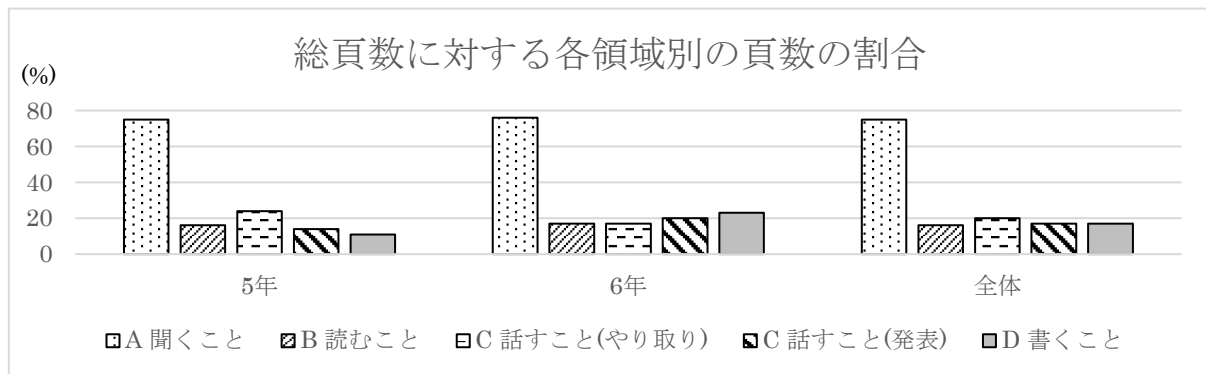
1 概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成					総 頁 数	頁 数	資料・付録
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと		D 書くこと			内容
				やり 取り	発表				
5年 (AB判)	頁	99	21	32	19	14	132	9	「絵カード」「フレーズ集」 「アルファベットカード」
	割合	75%	16%	24%	14%	11%			
6年 (AB判)	頁	100	22	22	26	30	132	9	「絵カード」 「フレーズ集」
	割合	76%	17%	17%	20%	23%			
合計	頁	199	43	54	45	44	264	18	
	割合	75%	16%	20%	17%	17%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関わるページ数の構成

	「言語の使用場面」 の種類の数	「言語の働き」 の種類の数	伝統文化を題材に 取り上げている ページ数	文字について独立 して取り上げている ページ数
5年	8	10	15	10
6年	5	6	10	8
全 体	13	16	25	18

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

5年	6年	別冊	合計
135	134		269

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年の「Words and Phrases」「Listen and Do」「Watch and Do」では、ゴールの「Activity」に向けての活動がイラスト等で設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに慣れ親しむための「Chant」が設定されている。
- 「Let's Read and Write」で文字と音の関係に気付かせる活動が設定されている。
- これまでに学習した語句や表現が復習できるように、「Pre Unit」が設定されている。

### 3 思考力、判断力、表現力等に関すること

- 各単元のはじめ「Introduction」では、イラストや写真が掲載されており、使用場面を想定しながら語句や表現を確認できる構成になっている。
- 各単元の「Watch the Scene」には、コミュニケーションを行う目的が示された学習課題が設定されている。
- 「Activity」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について、書く活動が設定されている。
- 既習の語句や表現を繰り返し活用し、定着を図るための活動である「Tips」が示され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各学期の終わりに「REVIEW」があり、その学期の学習内容を振り返り、学習した言語材料を活用して行う言語活動が設定されている。

### 4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では、国語、社会、道徳、総合的な学習の時間等の学習内容、第6学年では、国語、社会、道徳、総合的な学習の時間等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- SDGsに関する視点を取り入れた内容が設定されている。

### 5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 巻末の「Word List」には、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリ別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 巻末には、各単元で活用できる絵カードが付いている。
- 単元のはじめ「GOAL」では、学習の目標と流れが示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 各単元のレイアウトが統一されており、紙面上の定位置に配置されている。
- 「Can-Do List」には、児童自身が自分の到達度を振り返る欄が設けられている。

### 6 学習者用デジタル教科書に関すること

- 学習者用デジタル教科書においては、問題がランダムに出てくるように設定されている単語ゲームが準備されている。